

発行 島守小学校 学校だより
八戸市立島守小学校
発行日 平成30年 3月23日

自己肯定感の持てる子どもへ

校長 一条 秀雄

3月16日(金)、やや肌寒さを感じる気候ではありましたが、盛大に平成29年度島守小学校卒業証書授与式を挙行いたしました。ご臨席頂きました来賓、保護者、地域の皆様方に心から感謝申し上げます。おかげさまで皆様の温かい眼差しの中、15名の卒業生は、新しい世界へ飛び立ちました。在校生28名は、後を引き継ぐ決意と意欲を持って、卒業生を送り出しました。43名の子ども達は、呼びかけ、歌をはじめとして一生懸命がんばり、厳粛な中に温かさのある感動的な卒業式としてくれました。成長した卒業生の姿に、心に迫るものがありました。本当にうれしく思いました。特に呼びかけ「旅立ちの詩」の最後に全校で歌った「旅立ちの日に」の合唱では、卒業生、在校生、教職員、保護者ともに感動のあまり、涙の合唱となりました。卒業生の皆さんが、それぞれの新しい中学校で自分の力を発揮してくれることを願います。また、残された1～5年生の児童の皆さんが、卒業生から受け取った島守小の襷(たすき)をかけて、これからがんばってくれること期待しています。



子ども時代に身に付けてほしいことに、「自己肯定感」や「自己有用感」があります。自分のよさに気付くことから生まれてきます。このことは2月の参観日においてもお話ししました。日々の生活が実りあるものとするためには、その子の特性や特徴をよく理解した上で、様々な問題に対処しながら、その子の強みとなる部分をできるだけ伸ばす関わりが必要だと思えます。これは、学校でも、家庭でも言えることだと思えます。学習的な課題は、解決すべきものではありませんが、一部に過ぎないものなのかもしれません。もっと大きな意味で、人間として生きる上に必要な力を身に付け、本人が大人になったときに、自立して、世の中を生きていけるようになることが重要です。これが教育の本来の目的と言えるのかもしれません。勉強や成績といったものだけにとらわれず、偏った学校教育や家庭教育にならないように心がけたいものです。学校時代は成績優秀で、いい学校を出たが、まったく社会に適応できなかったという結果では、とても悲しい話です。そうならないよう助言、支援していくのが私たち大人であると思えます。

私たち大人が子ども達に与えることのできることに、「安心感」と「自己肯定感」、「自己有用感」があります。これを子ども達に持たせることができれば、多少の逆境や試練に出合おうとも、解決方法を探しながら、わが人生を切り開いていけると思えます。苦しい状況に置かれても、自分を追い詰めすぎず、希望を持ち続けながら、一步一步、着実に進んでいけると思えます。少々生き方が不器用だろうと、世渡りが下手だろうと、自分を信じ、自分が進む道を肯定することができれば、やがてその人は、自分にふさわしい生き方にたどりつくのではないのでしょうか。

平成29年度も、様々な学校行事、学年行事、学習活動、PTA活動等において保護者の皆さまには、ひとかたならぬご理解、ご協力を頂きました。また、地域の皆さま、関係諸団体の皆さまにも多くのご支援を頂きました。皆さまには心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。平成29年度もいよいよ納めとなり、4月から平成30年度となります。新年度も目指す学校像を「来がい、やりがい、学びがいのある学校」と位置づけ、教育活動を進めて参ります。教職員一同、一丸となって頑張る所存です。今後とも、保護者、地域の皆様の本校に対しての相変わらぬご理解、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

江戸時代の島守 (その22)

天明5年(1785)8月25日
「廿四日東大風雨夜まで通して続く。大洪水となる。是川島守通川原残らず押し流す。八戸廻りにて稗島三万百八十九島、粟島二百十二島流される。其のうち島守分は、稗八百十一島、粟二十島流される」

米もたくさん作っていましたが、米は年貢を払ったり、必要なものを手に入れるために売ったりするので、なかなか食べることができませんでした。米だけのご飯は、正月やお盆などの特別な日にしか食べることができず、普段は畑で作る稗や粟を食べていました。米と稗と混ぜたご飯が普通でしたが、半々だとぜいたくな方でした。



稗の刈り入れ

南郷歴史民俗資料館 古里 淳

メリーちゃんとのひなまつり会

3月2日、歴史民俗資料館に保存している島守小学校のメリーちゃんとともに、学芸員の中尻さんが来校し、メリーちゃんにまつわるお話をしてくださいました。メリーちゃんのパスポートには「ひなまつりを見学することになっています」という一文があったため、ひなまつりのときに里帰りをして一緒にひなまつり会を行っています。デーリー東北の新聞記事(H30.3.6)に掲載されました。



卒業生のみなさんの 小学校一番の思い出

- 石鉢 鳳輝さん：学習発表会の「うばすて」でぼくは、村人とリコーダーをやりました。練習をたくさんして本番ではうまくやれてよかったです。修学旅行の自主見学では自分で考えて計画を立てて活動しました。
- 小原 叶夢さん：修学旅行の自主見学で、友だちと行ったことがない街を歩いたのは初めてで、とても緊張したけど心に残っています。
- 長根 雄紀さん：修学旅行の自主見学で、最古のコンクリート電柱を見つけるために友だちと協力することができました。
- 松村 悠生さん：小中大運動会で白組団長になりセリフを覚えるのが大変でしたが、白組のみんなが赤組に負けなように全力を尽くし優勝も応援賞もとることができました。
- 清水頭歩人さん：修学旅行の自主見学で、自分たちで計画を立てることが初めてだったけど、見学は大成功したのでとても楽しかったです。
- 館 信之介さん：修学旅行の自主見学でソフトクリームを食べたり函館のいろいろなところをまわったりしました。函館の夜景はとてもきれいで食べ物はおいしかったです。
- 川畑 匠平さん：四年生のとき清掃工場に社会科見学をしました。その時の経験が、ぼくが質問できるようになったきっかけをつくってくれました。
- 馬場 翔也さん：修学旅行でフェリーに乗っているときイルカを見ることができました。自主見学では道に迷いながらもいろいろな建物の見学をしました。函館の夜景もきれいでした。
- 大道 琉香さん：陸上の県大会で、ぼくは初めて出て青森県で六位でした。中学校でも県大会に行くと入賞できるようにしたいです。
- 平 遼介さん：修学旅行の五稜郭タワーから見た景色は函館の街を一望できてよかったです。運動会では六年連続で負けているという記録を残しているのも、良い意味で思い出です。
- 西 丈二さん：友だち、家族、先生方に助けられて島守小ですごした六年間がぼくが一番の思い出です。たくさんの思い出ができました。
- 岩織 圭汰さん：修学旅行の自主見学で、道に迷ってしまったり、もう閉まっていたりと計画通りならなかったけど、しっかりペンションに着くことができて楽しかったです。
- 織田かれんさん：3年生から続けてきた卓球部が思い出です。最後の試合で勝つことができず、くやしい思いをしました。でも、仲間とともに戦ったこの四年間は大切な宝物です。
- 中里 葵さん：修学旅行の自主見学で仲間と計画を立て、いろいろな場所を見ることができました。もう一つは炭焼きです。手作業で手間がかかる作業ですが体験できてよかったです。
- 廣崎 莉音さん：一番の思い出は四年間続けてきた卓球部です。いつもみんなと一緒に練習し、試合も応援も全力でできました。

行事予定(4月)

- 3月31日(土) 「島守小中学校教職員歓送迎会並びに新入学児童・生徒を祝う会」14:00～コミソ
- 6(金) 新5・6年出校(9:00)入学式準備
- 9(月) 新任式・始業式入学式
- 10(火) 登校班組織会知能検査
- 11(水) 午前4時間授業(給食あり)12:40下校身体計測・視力検査
- 12(木)～13(金) NRT学力検査
- 13(金) 移動図書館
- 16(月) 内科健診
- 17(火) 学習状況調査(6年)
- 18(水) JRC登録式
- 19(木) 交通安全教室
- 20(金) 1年生を迎える会
- 24(火) 集金日
- 25(水) 参観日・PTA総会
- 26(木) 歯科検診
- 27(金) 春の遠足
- 30(月) 振替休日

